

機械器具 6 呼吸補助器
高度管理医療機器 再使用可能な手動式肺人工蘇生器 17591000
特定保守管理医療機器 レスキューセット

【警告】

1. 当該医療機器は、その組合せによって同梱されない構成部品があるので、この添付文書に記載の構成表と、ケースに表示してある型式とを照合し、あらかじめその構成内容を確認、把握しておくこと。
2. 医療関係者、救命救急士、もしくは救急蘇生法の指導を受けた方以外は使用しないこと。

【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞

- ・ 同梱の構成部品以外の組合せによる使用をしないこと。
[確実な接続ができず、機能しなくなることがあります。]

【使用目的又は効果】

- ・ 緊急用の人工呼吸用として使用される。

◆◆◆ シリコンレサシバッグ ◆◆◆

【警告】

1. 洗浄や滅菌などのために、分解、組立を行った後は、機能の確認を行うこと。
2. シリコンレサシバッグには、オイル、グリース等を付着させないこと。
[酸素投与時に引火することがあります。]

【禁忌・禁止】

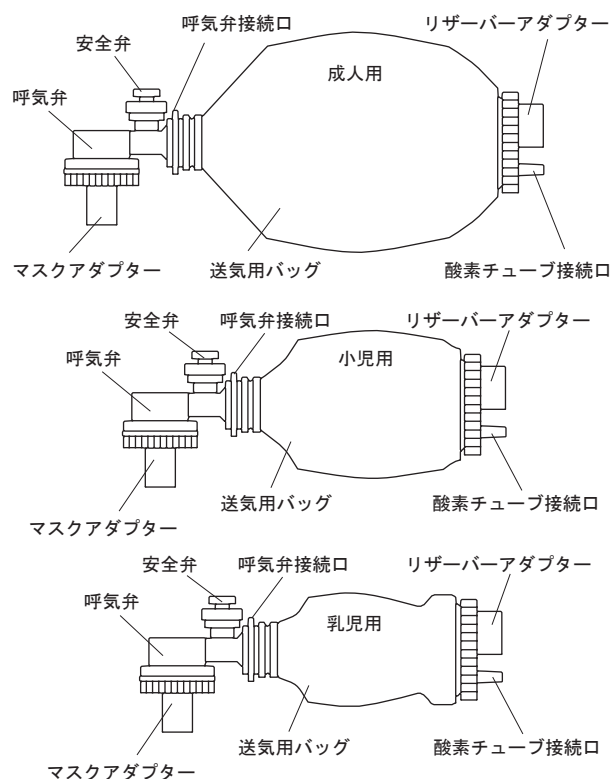
＜適用対象(患者)＞

- ・ 自発呼吸のある患者には、使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

＜形状・構造＞

シリコンレサシバッグには次の3種類があります。



＜原理＞

- ① 呼気弁及びリザーバーアダプターの内部には、一方弁が内蔵されている。
- ② 送気用バッグを手で圧迫すると、内部の空気が呼気弁、マスクを通して患者に供給される。
- ③ 圧迫を解除すると送気用バッグが弾力で膨張し、リザーバーアダプター内部の一方弁を通して新しい空気が送気用バッグに導入される。

＜性能等＞

区分	成人用	小児用	乳児用
性能			
送気用バッグ容量 (mL)	1500±10%	600±10%	280±10%
換気量 (mL/回)	500~1200	100~500	0~100
安全弁作動圧力 (kPa)	4.4±0.5	3.4±0.5	2.9±0.5
ロック機能	付	無	無
目安体重 (kg)	33~	6~33	~6

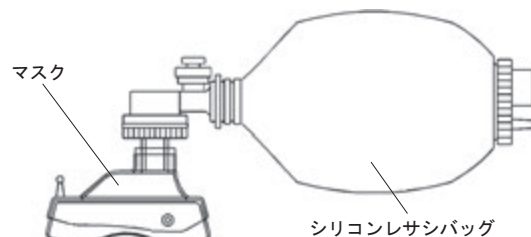
※マスクアダプター寸法 外径:22 mm 内径:15 mm

【使用目的又は効果】

送気用バッグ部を圧迫して陽圧を発生させ、呼吸困難な患者に送気する。

【使用方法等】

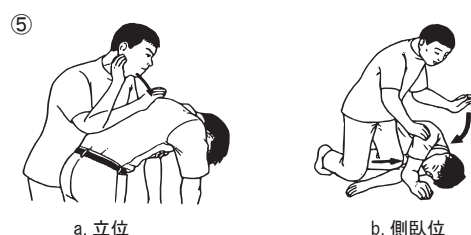
- ① 患者の年齢、体格を勘案し、シリコンレサシバッグとマスクを選定する。
シリコンレサシバッグ選定の目安となる体重は上表を参照。
- ② マスクアダプターに、マスクを取り付ける。



- ③ 口が閉ざされている場合、指、開口器などにより開口させる。
- ④ 口腔内に分泌物や異物があれば、指、吸引器にて除去する。



- ⑤ 気道内に異物がある場合は、背部叩打法、上腹部圧迫法（ハイムリック法）、側胸下部圧迫法等により、異物を除去する。



a. 立位

b. 側臥位

背部叩打法

⑥ 気道を確保する。

- 1) 肩、首に衣類等を入れ、頭部後屈を行う。
- 2) 頸部損傷が疑われる場合は頭部後屈を行わず、下顎だしのみで気道を確保する。
- 3) 必要に応じ、エアウェイを使用する。

⑦ 患者にマスクのゴムクッション部を密着させ、シリコンレサシバッグの送気用バッグを手で圧迫し、空気を圧送する。

⑧ 胸部の動きを監察し、起伏が不十分なときは次を確認する。

- 1) マスクの密着は確実か。
- 2) 気道の確保は出来ているか。

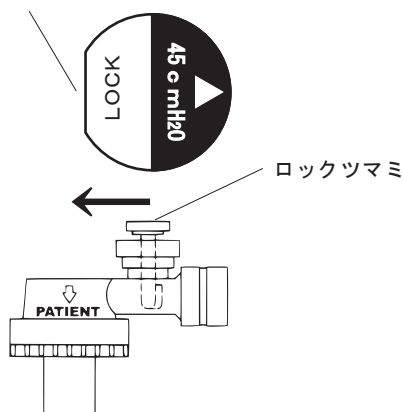


【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. 蘇生中は、患者の唇と顔色の変化を、マスクの透明部分を通して観察すること。
2. シリコンレサシバッグの弁の動きが正常であることを確認すること。
3. 患者の体温の保持に努めること。
4. 安全弁の「ロック機能」について（成人用のみ）

ロックツマミを押しながら回し、「LOCK」の文字をマスク側（←）にする



安全弁のロック機能は強い圧力で送気をする場合に使用します。ロックツマミを回し、「LOCK」の文字をマスク側に向けます。この状態で送気用バッグを圧迫すると、圧迫された空気はすべて患者に送られます。

逆に「45 cmH₂O」(▲)をマスク側、「LOCK」をバッグ側にすると、ロックは解除されて安全弁が作動し45 cmH₂O以上の強い圧力はかかりません。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
40℃以下の、直射日光の当たらないところに保管すること。
2. 耐用期間
製造後3年〔自己認証(自社データ)による〕

【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

1. 使用後は、速やかに洗浄し、滅菌を行っておくこと。
(135℃ オートクレーブ滅菌可能)
2. 使用前及び1年に1度、次の点検を行うこと。
 - ① 全体にキズ、変形、割れ等が無い。
 - ② 送気用バッグを圧迫し手を離れたとき速やかに復元するか。
 - ③ マスクアダプターの空気出口部を手で塞ぎながら、送気用バッグを圧迫したとき、安全弁が作動するか。

＜業者による保守点検事項＞

- ・2年に1度、専門業者による定期点検、整備を行うことをお勧めします。

◆◆◆ マスク ◆◆◆

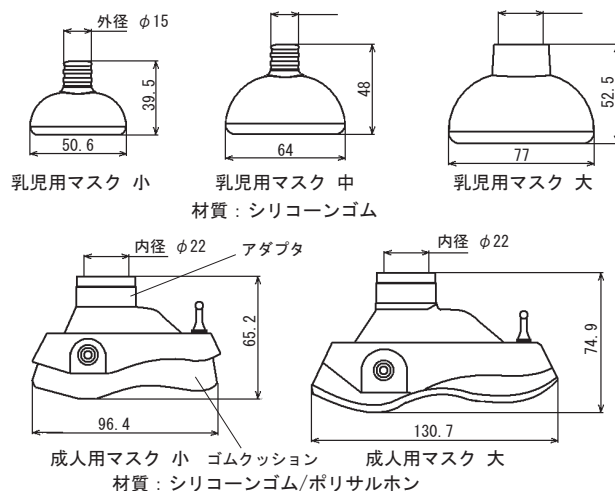
【警告】

- ・患者の年齢、体型に合ったマスクを使用すること。

【形状・構造及び原理等】

＜形状・構造＞

マスクには次の5種類があります。



【使用目的又は効果】

シリコンレサシバッグからの陽圧を受け患者に空気を供給する。

【使用方法等】

- ① マスクのアダプタ部をシリコンレサシバッグに吻合する。
- ② ゴムクッション部で患者の口、鼻を塞ぎ、押し付けて空気が漏れないように密着させる。
- ③ シリコンレサシバッグを圧迫し、患者に空気を圧送する。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・蘇生中は、患者の胸部の動きを監察すること。起伏が不十分な場合、マスクのゴムクッション部の密着を確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
40℃以下の、直射日光の当たらないところに保管すること。
2. 耐用期間
製造後3年〔自己認証(自社データ)による〕

【保守・点検に係る事項】

1. 使用後は、速やかに洗浄し、滅菌を行っておくこと。
(135℃ オートクレーブ滅菌可能)
2. 使用前及び1年に1度、次の点検を行うこと。
 - ① 全体にキズ、変形、割れ等が無い。
 - ② ゴムクッションのシリコン材に劣化、変色が無い。

◆◆◆ エアウェイ ◆◆◆

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止。
[感染のおそれがあります。]
- ＜適用対象(患者)＞
・意識のある患者には、使用しないこと。
[咽頭けいれんを起こすことがあります。]

【形状・構造及び原理等】

＜形状・構造＞

エアウェイには次の4種類があります。

材質：ポリエチレン樹脂



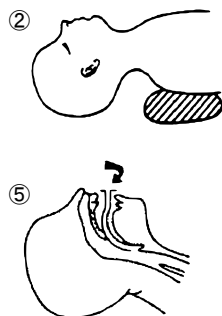
区分	エアウェイ			
	大	中	小	極小
寸法A (mm)	81	77	56	41
寸法B (mm)	20	17	14	10

【使用目的又は効果】

- ・呼吸困難な患者に対して行う処置の際、気道を確保するために使用される。

【使用方法等】

- ①口腔内に異物が無いことを確認する。
- ②患者の背中の下にタオル等を入れ、後頭部を低く保つ。
- ③患者の年齢、体格に応じた大きさのエアウェイを選定する。
- ④舌根部を前方に確保し、エアウェイの先端を口蓋側に向けて口腔内に挿入する。
- ⑤エアウェイを回転(180°)させながら挿入して行き、先端が咽頭蓋の手前にくるようにする。



※エアウェイ使用時の大きさの目安

年齢、体格	大きさの目安
成人	エアウェイ 大 又は 中
小児	エアウェイ 中 又は 小
乳児	エアウェイ 極小

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. 使用前に消毒する場合は消毒用エタノールで行うこと。
オートクレーブ滅菌不可。
2. 一度使用したエアウェイは廃棄すること。再使用できません。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
40℃以下の、直射日光の当たらないところに保管すること。
2. 有効期間
製造後3年 [自己認証(自社データ)による]

【保守・点検に係る事項】

- ・使用前及び1年に1度、キズ、変形、割れが無いかを点検すること。

◆◆◆ 舌鉗子 ◆◆◆

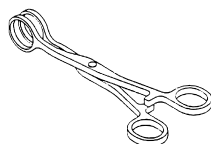
【警告】

- ・口腔内を傷つけないように注意して使用すること。

【形状・構造及び原理等】

＜形状・構造＞

ハサミの一種であり、先端部が円形状をしている。
材質：ステンレス鋼



【使用目的又は効果】

呼吸困難な患者に対して行う処置の際、気道を確保するために使用される。

【使用方法等】

先端部の円形状部分で舌をはさみ、押さえつける。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・本製品を曲げ、切削、打刻等の二次加工をしないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
有害ガスの発生する場所に保管しないこと。
2. 耐用期間
製造後7年 [自己認証(自社データ)による]

【保守・点検に係る事項】

1. 使用後は、速やかに洗浄し、滅菌を行っておくこと。
(135℃ オートクレーブ滅菌可能)
2. 強アルカリ/強酸性洗剤、消毒剤は、器具を腐食させる恐れがあるので使用しないこと。
3. 使用前及び1年に1度、さびの有無、操作状態についての点検を行うこと。

◆◆◆ 舌圧子 ◆◆◆

【警告】

- ・口腔内を傷つけないように注意して使用すること。

【形状・構造及び原理等】

＜形状・構造＞

すべての角部は円形状とし周囲のバリを完全に除去してある。
材質：ステンレス鋼



【使用目的又は効果】

呼吸困難な患者に対して行う処置の際、気道を確保するために使用される。

【使用方法等】

右図のように、舌を下方に押さえつける。



【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・本製品を曲げ、切削、打刻等の二次加工をしないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
有害ガスの発生する場所に保管しないこと。
2. 耐用期間
製造後7年 [自己認証(自社データ)による]

【保守・点検に係る事項】

1. 使用後は、速やかに洗浄し、滅菌を行っておくこと。
(135℃ オートクレーブ滅菌可能)
2. 強アルカリ/強酸性洗剤、消毒剤は、器具を腐食させる恐れがあるので使用しないこと。
3. 使用前及び1年に1度、さびの有無の点検を行うこと。

◆◆◆ 開口器 ◆◆◆

【警告】

- ・口腔内を傷つけないように注意して使用すること。

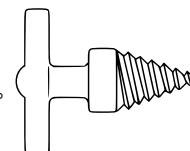
【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止。
[感染のおそれがあります。]

【形状・構造及び原理等】

＜形状・構造＞

右図に示すように、先端部が細く、順次太くなっていくネジ部とそれを回転させるためのハンドル部が一体となった構造となっている。
材質：ポリカーボネート

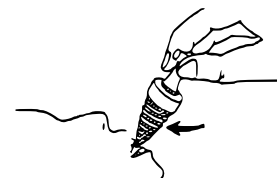


【使用目的又は効果】

呼吸困難な患者に対して行う処置の際、気道を確保するために使用される。(固く閉ざされた患者の口を開かせるために使用する。)

【使用方法等】

- ・患者の前歯の間に開口器のネジ部を挿入し、ハンドル部を右に回転させる。



【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・使用前に消毒する場合は消毒用エタノールで行うこと。
オートクレーブ滅菌不可。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
40℃以下の、直射日光の当たらないところに保管すること。
2. 有効期間
製造後3年 [自己認証(自社データ)による]

【保守・点検に係る事項】

1. 一度使用した開口器は廃棄すること。再使用不可。
2. 使用前及び1年に1度、キズ、変形、割れなどが無いかを点検すること。

◆◆◆ 足踏式吸引器 ◆◆◆

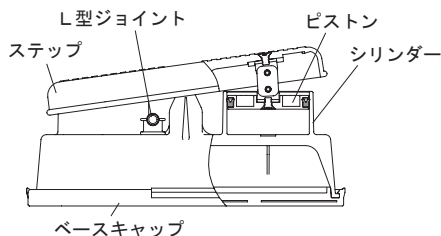
【警告】

- ・なるべく水平で、凹凸の少ない、安定した場所を選んで使用すること。
- 【足場が不安定だと、転倒する危険があります。】

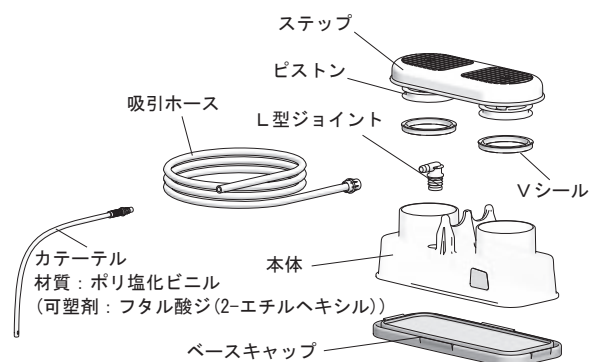
【形状・構造及び原理等】

＜形状・構造＞

- ・足踏式吸引器は、下図のとおり構成されています。



*＜分解図＞



＜原理＞

ステップの動きに連動してピストンがシリンダー内を上下に運動し、シリンダー内の容積が変化して、真空圧を発生させる。

＜性能等＞

- ・吸引圧 -60kPa以上

【使用目的又は効果】

- ・口咽頭での吸引に用いる。

【使用方法等】

- ① L型ジョイントに、吸引ホース及びカテーテルを接続する。
- ② 足踏式吸引器を、安定した場所に設置する。
- ③ ステップを前後に踏むことにより、吸引を行う。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

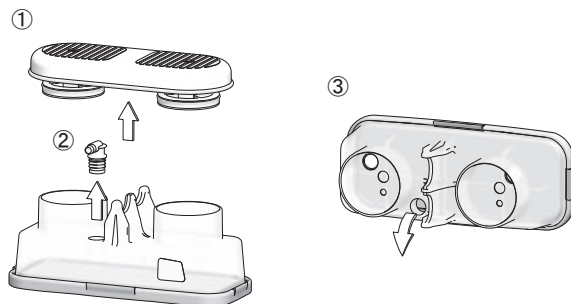
1. L型ジョイントが本体に確実に接続されていることを確認すること。
2. ベースキャップと本体との間に、隙間が無いことを確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
40℃以下の、直射日光の当たらないところに保管すること。
2. 耐用期間
製造後5年 [自己認証(自社データ)による]

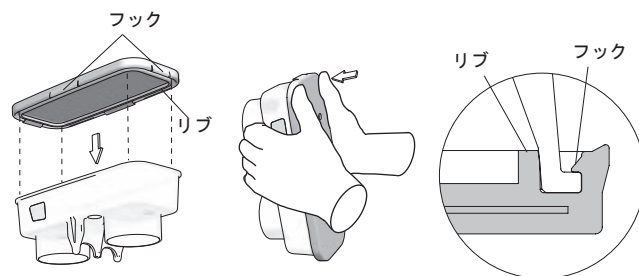
【保守・点検に係る事項】

1. 使用前及び1年に1度、キズ、変形、割れなどが無いかを点検すること。
2. 使用後は、下記の手順で洗浄、消毒を行うこと。
 - ① ステップを本体から外す。
 - ② L型ジョイントを本体から外す。
 - ③ L型ジョイントの取り付け穴から異物などを捨てる。
 - ④ 各部品の、洗浄、消毒を行う。(オートクレーブ滅菌不可)
 - ⑤ 部品を元通り組み立てる。



3. ベースキャップの取り付け方

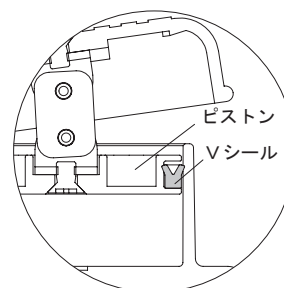
ベースキャップ内側のリブを本体内部に合わせ、リブがめくれないように注意しながら本体に押し込み、ベースキャップ各辺のフックをはめる。
取り付け後、リブがめくれていないこと、また、本体が奥まではまり、フックが確実に引っかかっていることを確認する。



※本体のふちと入り口(内側)に少量の水を付けると、滑りが良くなり、取り付けしやすくなります。



4. Vシールの取り付け向き



◆◆◆ 手動式吸引器 ◆◆◆

【警告】

- ・各部品が正しく組み立てられており、勤合部の気密が確実であることを確認すること。

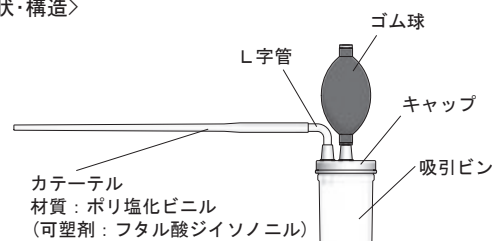
**【禁忌・禁止】

＜適用対象(患者)＞

- ・天然ゴムに対するアレルギー性疾患又はそのおそれのある者の使用及び患者へは使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

*＜形状・構造＞



＜原理＞

ゴム球の内部には一方向弁が内蔵されており、ゴム球の圧迫、開放を行うことによって吸引ピン内に真空圧を発生させる。

＜性能等＞

- ・ 吸引圧 -30kPa以上

【使用目的又は効果】

口咽頭での吸引に用いる。

【使用方法等】

- ①カテーテルの一端を、手動式吸引器のL字管に差し込む。
- ②カテーテルの他端を患者の咽頭に挿入し、ゴム球を手で圧迫することにより、異物等の吸引を行う。

【使用上の注意】

**＜重要な基本的注意＞

1. 各部品が正しく組み立てられており、勘合部の気密が確実であることを確認すること。
2. 本品は天然ゴムを使用しています。天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあるので、このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
40℃以下の、直射日光の当たらないところに保管すること。
2. 耐用期間
製造後5年 [自己認証(自社データ)による]

【保守・点検に係る事項】

1. 使用前及び1年に1度、キズ、変形、割れなどが無いかを点検すること。
2. 使用後は、下記の手順で洗浄、消毒を行うこと。
 - ①吸引ピン、ゴム球、キャップを分解する。
 - ②異物等を捨てる。
 - ③各部品の、洗浄、消毒を行う。
(消毒用エタノール使用。
オートクレーブ滅菌不可。)
 - ④部品を元通り組み立てる。

分解図



◆◆◆ リザーブバッグ ◆◆◆

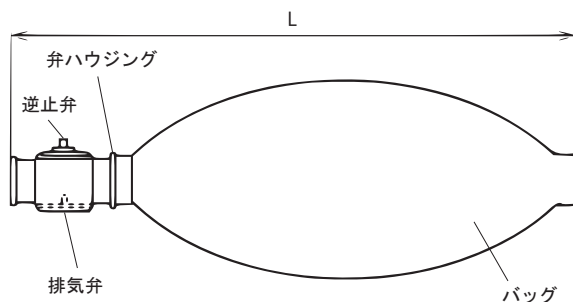
【警告】

1. リザーブバッグには、オイル、グリース等を付着させないこと。
[酸素投与時に引火することがあります。]
2. 火気の近くで、酸素投与を行わないこと。

【形状・構造及び原理等】

＜形状・構造＞

リザーブバッグには次の2種類があります。
リザーブバッグ 大 ・ リザーブバッグ 小



	リザーブバッグ 大	リザーブバッグ 小
寸法L (mm)	365	285
容量 (mL)	2500	600
適用	成人用	小児用

＜原理＞

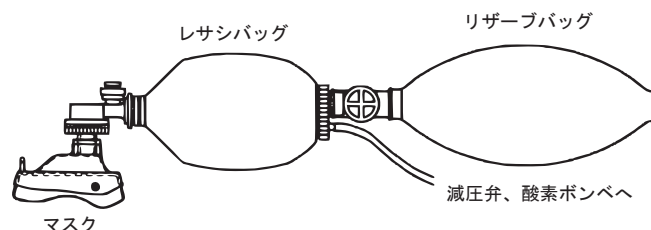
酸素ボンベからの酸素を一時的に蓄え、これをシリコンレサシバッグに供給する。

【使用目的又は効果】

患者に高濃度の酸素を供給する。

【使用方法等】

- ①リザーブバッグを、シリコンレサシバッグに接続する。
- ②シリコンレサシバッグの酸素チューブ接続口に、酸素ボンベから減圧弁を介して酸素チューブを配管する。
- ③酸素ボンベのハンドルを静かに開き、酸素を供給する。



・ 酸素濃度の目安

酸素流量 (L/分)		2	5	10	15
換気量 (mL) × 呼吸回数		酸素濃度 (%)			
成人用	600 × 20		58 (33)	80 (37)	99 (45)
	750 × 12		65 (33)	99 (37)	99 (45)
	750 × 20		50 (30)	99 (37)	99 (45)
	1000 × 20		45 (30)	62 (37)	88 (45)
小児用	70 × 30	95 (65)	99 (83)	99 (90)	
	200 × 20	58 (37)	99 (44)	99 (46)	
	200 × 30	50 (37)	96 (43)	99 (45)	
	300 × 20	45 (34)	84 (37)	99 (45)	
乳児用	20 × 30	99 (72)	99 (77)	99 (94)	
	20 × 60	99 (70)	99 (75)	99 (90)	
	40 × 30	99 (70)	99 (74)	99 (90)	
	40 × 60	99 (58)	99 (72)	99 (80)	
	70 × 30	97 (55)	99 (65)	99 (79)	

※ () 内はリザーブバッグ無しの場合

測定条件

	コンプライアンス (L/cmH ₂ O)	抵抗 (cmH ₂ O/L/s)	吸気 呼吸
成人用	0.02	20	1 : 2
小児用	0.01	200	
乳児用	0.01	400	

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. リザーブバッグには、オイル、グリース等を付着させないこと。
2. 酸素投与は、火気の近くで行わないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
40℃以下の、直射日光の当たらないところに保管すること。
2. 有効期間
製造後3年 [自己認証(自社データ)による]

【保守・点検に係る事項】

1. オートクレーブ滅菌不可。
2. 使用前及び1年に1度、全体にキズ、変形、割れなどが無いかを点検すること。

◆◆◆ O₂チューブ ◆◆◆

【警告】

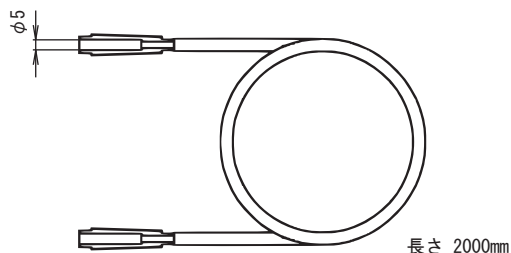
1. O₂チューブに、キズ、つぶれ、もしくは、水滴、異物等による詰まりが無いことを確認すること。
2. 接続部からの漏れの無いことを確認すること。
3. 各部品が正しく組み立てられており、勤合部の気密が確実にあることを確認すること。

【禁忌・禁止】

- ・本品は1患者専用のディスポーザブル製品ですので、再使用しないこと。
[感染のおそれがあります。]

【形状・構造及び原理等】

＜形状・構造＞



【使用目的又は効果】

酸素供給源から、リザーブバッグ、シリコンレサシバッグを通して患者に酸素を供給する。

【使用方法等】

O₂チューブの一端を減圧弁のホース接続口に、他端をシリコンレサシバッグの酸素チューブ接続口に接続する。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. O₂チューブに、キズ、つぶれ、もしくは、水滴、異物等による詰まりが無いことを確認すること。
2. 接続部からの漏れが無いことを確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
40℃以下の、直射日光の当たらないところに保管すること。
2. 有効期間
製造後3年 [自己認証(自社データ)による]

【保守・点検に係る事項】

- ・使用前及び1年に1度、次の点検を行うこと。
 - ①キズ、つぶれ、劣化などが無いか。
 - ②水滴、異物等による詰まりが無いか。

◆◆◆ カニユーラ ◆◆◆

【警告】

1. カニユーラに、キズ、つぶれ、もしくは、水滴、異物等による詰まりが無いことを確認すること。
2. 接続部からの漏れの無いことを確認すること。

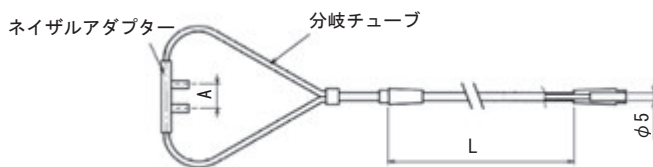
【禁忌・禁止】

- ・本品は1患者専用のディスポーザブル製品ですので、再使用しないこと。
[感染のおそれがあります。]

【形状・構造及び原理等】

*＜形状・構造＞

カニユーラには次の3種類があります。
成人用 ・ 小児用 ・ 乳児用
材質：ポリ塩化ビニル
(可塑剤：フタル酸ジイソノニル)



	成人用	小児用	乳児用
A (mm)	14.5	9.5	6.5
L (mm)	1600	1600	2100

【使用目的又は効果】

酸素供給源から患者に酸素を供給する。

【使用方法等】

- ①カニユーラのネイザルアダプター部分を患者の鼻孔に、他端の接続部分を減圧弁のホース接続口に接続する。
- ②酸素ポンペのボンベコックを開き、患者に酸素を投与する。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. カニユーラに、キズ、つぶれ、もしくは、水滴、異物等による詰まりが無いことを確認すること。
2. 接続部からの漏れの無いことを確認すること。
3. ネイザルアダプター部分より酸素が出ていることを確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
40℃以下の、直射日光の当たらないところに保管すること。
2. 有効期間
製造後3年 [自己認証(自社データ)による]

【保守・点検に係る事項】

- ・使用前及び1年に1度、次の点検を行うこと。
 - ①キズ、つぶれ、劣化などが無いか。
 - ②水滴、異物等による詰まりが無いか。

◆◆◆ オキシゲンマスク ◆◆◆

【警告】

- ・オキシゲンマスク内に酸素が供給されていることを確認すること。

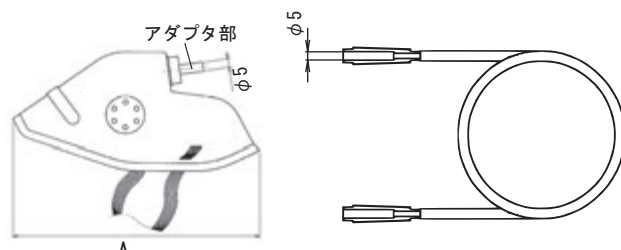
【禁忌・禁止】

- ・本品は1患者専用のディスポーザブル製品ですので、再使用しないこと。
[感染のおそれがあります。]

【形状・構造及び原理等】

*＜形状・構造＞

オキシゲンマスクには次の3種類があります。
成人用 ・ 小児用 ・ 乳児用
材質：ポリ塩化ビニル
(可塑剤：フタル酸ジイソノニル)



	成人用	小児用	乳児用
A (mm)	142	95	76

【使用目的又は効果】

酸素供給源から患者に酸素を供給する。

【使用方法等】

- ① オキシゲンマスクのアダプタ部と減圧弁のホース接続口とを、チューブで接続する。
- ② オキシゲンマスクで患者の口、鼻をおおう。
- ③ 酸素ポンペのポンベコックを開き、患者に酸素を供給する。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・ マスク内に酸素が供給されていることを確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
40℃以下の、直射日光の当たらないところに保管すること。
2. 有効期間
製造後3年 [自己認証(自社データ)による]

【保守・点検に係る事項】

- ・ 使用前及び1年に1度、次の点検を行うこと。

- ① キズ、つぶれ、劣化などが無いか。
- ② 水滴、異物等による詰まりが無いか。

◆◆◆ 減圧弁 ◆◆◆

【警告】

1. 医師又は医療従事者の指導により使用すること。
2. ポンベコックの開閉は、急激に行わないこと。
[発火・爆発することがあります。]
3. 接続作業完了後は、漏れの無いことを確認すること。
4. 流量調整ダイヤルの目盛の中間位置では使用しないこと。
[ガスは流れますが、流量精度は保証できません。]
5. 使用後は必ずポンベコックを閉め圧力の残圧を抜くこと。
[圧力計故障の原因になります。]

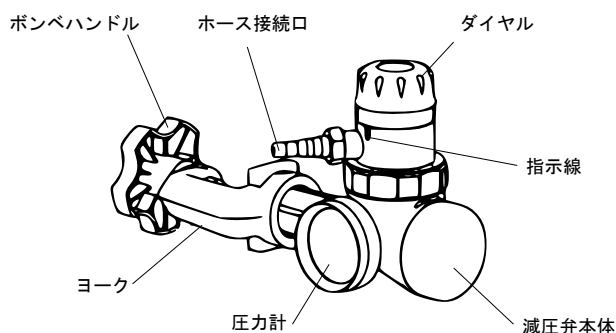
【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

1. 日本薬局方酸素ガス以外の酸素ポンペに接続しないこと。
2. 火気、可燃物の近くで接続・使用しないこと。
[爆発することがあります。]
3. 接続部には、オイル、グリース等を付着させないこと。
[酸素投与時に引火することがあります。]
4. この減圧弁に、19.6MPaを超える圧力をかけないこと。

【形状・構造及び原理等】

＜形状・構造＞



＜原理＞

ピストン、調圧スプリング、大室で構成され、ポンペ内の高圧ガスが本体内部の弁座部を経て大室内に入りピストンの全面に圧力が作用し、調圧スプリングの反力と平衡するまでピストンを押し下げ、弁座部を閉じることにより高圧ガスの流入を止める。このピストン運動と弁座部の開閉により、圧力調整が行われる。酸素ガスを、流量調整ダイヤルによって切り替えられる、放射状に配置された、それぞれ内径の異なる穴を通過させることにより、所定の流量を得る。

＜性能等＞

1. 使用ガス：医療用酸素（日本薬局方酸素）
2. 性能

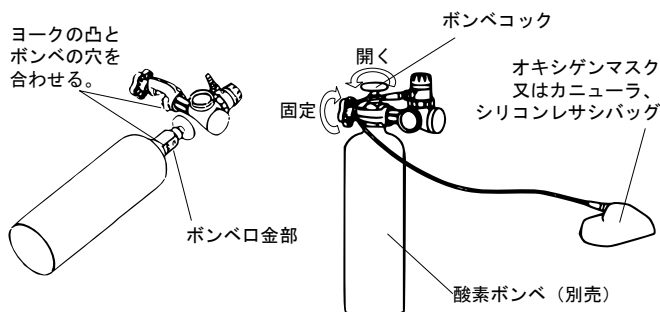
最高入力圧	19.6 MPa以下
最小入力圧	2 MPa以上
吐出流量	0～15 L/分
設定流量	0.5、1、2、3、4、5、6、8、10、12、15 L/分
流量精度	設定値に対して±10%又は±0.5 L/分のいずれか大きい値

【使用目的又は効果】

酸素ポンペからの高圧酸素を適正な圧力に減圧し、患者に供給する。

【使用方法等】

- ① 減圧弁のヨークにポンペ口金部を挿入し、ヨークの凸とポンペ口金部の穴を合わせ、ポンペハンドルで確実に固定する。
- ② 減圧弁のホース接続口に、カニューラ又はオキシゲンマスクチューブを挿入する。
シリコンレサシバッグに接続する場合はO₂チューブを挿入する。
- ③ ポンベコックを静かに開ける。
- ④ 流量調整ダイヤルを回し、患者に酸素を供給する。
指示線に合った数字が、設定流量（L/分）になります。



【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・ ホース接続口には、2山以上挿入すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵・保管方法
40℃以下の、直射日光の当たらないところに保管すること。
2. 耐用期間
製造後5年 [自己認証(自社データ)による]

【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

- ・ 使用前には次の点検を行うこと。
 - ① 外観の点検（破損、汚れ、部品の紛失、接続部の緩みなど）
 - ② 漏れの確認

＜業者による保守点検事項＞

- ・ 2年に1度、専門業者による定期点検、整備を必ず行ってください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元
株式会社 興伸工業
電話番号 048-781-8800

この添付文書に記載した内容の一部には、下記文献の文章、図版から転用した部分があります。

「改訂版」救急蘇生法の指針 へるす出版
監修／日本救急医療財団 著者／心肺蘇生法委員会

構成表

品名	型式	ODXF	ODXH	ODXF -C	ODXH -C	ODXF -CI	ODXH -CI	OSA	OSC	OSI	DXF	DXH	STD	DXF -C	DXH -C	STD -C	DXF -CI	DXH -CI	STD -CI
シリコンレサシバッグ 成人用		○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
成人用マスク 大		○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
成人用マスク 小		○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
エアウェイ 大		○	○	○	○	○	○				○	○		○	○		○	○	
エアウェイ 中		○	○	○	○	○	○				○	○		○	○		○	○	
エアウェイ 小		○	○	○	○	○	○				○	○		○	○		○	○	
エアウェイ 極小		○	○	○	○	○	○				○	○		○	○		○	○	
舌鉗子		○	○	○	○	○	○				○	○		○	○		○	○	
舌圧子		○	○	○	○	○	○				○	○		○	○		○	○	
開口器		○	○	○	○	○	○				○	○		○	○		○	○	
リザーブバッグ 大		○	○	○	○	○	○	○	○										
O ₂ チューブ		○	○	○	○	○	○	○	○	○									
カニューラ 成人用		○	○	○	○	○	○												
オキシゲンマスク 成人用		○	○	○	○	○	○												
減圧弁		○	○	○	○	○	○												
足踏式吸引器		○		○		○					○			○			○		
手動式吸引器			○		○		○					○			○			○	
シリコンレサシバッグ 小児用				○	○	○	○		○					○	○	○	○	○	○
乳児用マスク 大				○	○	○	○		○					○	○	○	○	○	○
乳児用マスク 中				○	○	○	○		○	○				○	○	○	○	○	○
カニューラ 小児用				○	○	○	○												
オキシゲンマスク 小児用				○	○	○	○												
シリコンレサシバッグ 乳児用						○	○			○							○	○	○
乳児用マスク 小						○	○			○							○	○	○
リザーブバッグ 小						○	○			○									
カニューラ 乳児用						○	○												
オキシゲンマスク 乳児用						○	○												

ここに記載されていない型式については、別紙の構成表を参照のこと